

## 第56回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会の中止について

令和2年5月11日

第56回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会（ラグビーフットボール競技を除く）の中止について

北海道地区国立工業高等専門学校体育協議会  
第56回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会  
会長 小林 幸 徳

新型コロナウイルスによってお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、医療・介護関係をはじめ、感染症対策の最前線でご尽力されているすべての方々に感謝申し上げます。

さて、5月1日の一般社団法人全国高等専門学校連合会臨時総会において、令和2年度全国高等専門学校体育大会（以下「全国大会」という）の中止について決定されました

（<https://www.kosen-all.or.jp/information/2020/05/post-13.html>）。

これを受け、北海道地区国立工業高等専門学校体育協議会として、全国大会の予選となる第56回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会（ラグビーフットボール競技を除く）の中止を決定いたしました。

北海道においては緊急事態措置が5月31日まで延長となり、道内の感染が収束する見通しが立っておりません。現時点では、移動・宿泊等を含めて選手たちが安心して参加できる環境を整備した上での大会開催が非常に困難であると言わざるを得ません。

道内の高専では課外活動について通常の活動をしている高専は無く、選手たちが十分な準備をして大会に臨むことが難しくなっています。感染拡大防止への取組と学生・教職員・関係者の健康・安全を最優先するという理由で、苦渋の決断をいたしました。

大会開催にあたって関係教職員の皆様におかれましては、競技団体等との折衝、会場・開催期日の調整等の準備に多大な努力を重ねて来られたことと思います。学生の皆さんも道内大会、これに続く全国大会を目標として、厳しい冬の間も日々練習を重ねてこられたことと思います。とくにこれが最後の大会となる学生や保護者の皆様の心中を想いますと、大変心苦しいお知らせです。

選手の皆さんは、部活動を通じて身体を鍛え、心を磨き、多くの仲間を得てきました。その日々が皆さんにとっての財産であることは間違いのない事実です。そのことを胸に刻み、この苦難を乗り越えましょう。

あらためまして、今回下した決断に対し、何とぞ、ご理解とご了承をいただきますよう心よりお願いいたします。